

静岡県社会体育施設指定管理者評価委員会による評価結果

令和4年8月24日
静岡県スポーツ・文化観光部
スポーツ局スポーツ振興課

1 趣旨

静岡県立水泳場、静岡県富士水泳場及び静岡県武道館については、平成30年度から第4期となる指定管理者による管理運営が行われています。

施設名	指定管理者	指定期間
静岡県立水泳場	静岡県スポーツ協会グループ	平成30年4月1日から 令和5年3月31日まで (5年間)
静岡県富士水泳場	静岡県富士水泳場マネジメントグループ	
静岡県武道館	静岡県スポーツ協会グループ	

※静岡県体育協会グループは令和2年度に静岡県スポーツ協会グループに名称変更

これらの施設における管理運営が、利用者サービスの向上と管理経費の縮減という指定管理者制度の目的を達成しているか、また、公の施設として条例に掲げる設置目的の達成に貢献しているか等について、客観的な評価を行うため、第三者の委員からなる評価委員会を設置し、委員会による評価を行いました。

2 評価委員会の実施について

施設名	実施日	内容
静岡県立水泳場	令和4年7月29日	指定管理者による事業実績説明
静岡県富士水泳場		質疑応答 指定管理者による事業実績説明について質疑応答
静岡県武道館		意見交換及び評価 意見交換後、委員ごとに評価を実施 評価・講評 委員会としての評価の決定及び各委員からの講評

(評価委員会) ◎=委員長、○=委員長代理

氏名	所属・役職
佐藤 克昭◎	佐藤経済研究所所長、浜松学院大学元教授
川口 良子○	合同会社 デザイン・アープ 代表
竹田 利恵子	静岡県スポーツ推進委員連絡協議会 副会長
前田 恭伸	静岡大学工学部教授 (事業開発マネジメント系)
杉山 康司	静岡大学教育学部教授 (保健体育系)

3 評価について

以下の「評価の視点」「評価項目」に基づき評価を行いました。

評価の視点	評価項目		配点
○施設の管理運営を適切に行っているか ○競技力の向上及び指導者の養成を図るとともに、県民の健康増進とスポーツの振興に寄与しているか	①	経営管理	20
	②	管理運営体制	20
	③	利用者サービスの向上	20
	④	危機管理体制等	20
	⑤	求められる業務水準	20
計			100

4 年度評価結果について

評価区分は、「優」「良」「可」「要改善」の4段階で、各委員の採点の平均点に基づき決定しました。総合評価は各評価項目の得点の合計により決定しました。

施設名	静岡県立水泳場						
指定管理者名	静岡県スポーツ協会グループ						
評価	総合			優			
	評価項目別	評価項目	①	②	③	④	⑤
		得点	18	19	18	18	18
	評価区分	優	優	優	優	優	
内 容							
主な評価点：良いと評価した取り組み等 提言：改善や一層の努力を求めたい点等							
主な評価点	適切な人員配置と研修実施のもと、利用者の満足度や信頼性を高める管理運営が行われている。 館内整備・美化の推進、新たな利用ニーズに応える試みなど意欲的な改善への取り組みを評価したい。						
提言	省エネの工夫・実践をはじめ、デジタル技術の活用を図るなど、効率的な管理運営を一層促進されたい。 スポーツや教育等関係する団体との連携に努め、地域貢献への役割発揮と利用促進につなげてほしい。						

施設名	静岡県富士水泳場						
指定管理者名	静岡県富士水泳場マネジメントグループ						
評価	総合			優			
	評価項目別	評価項目	①	②	③	④	⑤
		得点	19	19	19	18	19
	評価区分	優	優	優	優	優	

内 容	
主な評価点：良いと評価した取り組み等 提言：改善や一層の努力を求めたい点等	
主な評価点	利用料・自主事業収入とも着実に増加、競技力向上や健康増進・スポーツ振興などの取組みも充実している。 快適・安全な施設利用環境の向上が図られ、修繕や防災備蓄品の購入等へ利益還元も行われている。
提 言	エネルギー価格高騰への対応と、現場責任者の安定配置など適切な業務管理の一層の促進を期待したい。 危機管理マニュアルの適正な見直し・改訂や、実現性の高い予算計画策定への改善に努めてほしい。

施 設 名	静岡県武道館						
指定管理者名	静岡県スポーツ協会グループ						
評 価	総合			優			
	評価項目別	評 価 項 目	①	②	③	④	⑤
		得 点	19	19	17	18	18
	評 価 区 分	優	優	優	優	優	
内 容							
主な評価点：良いと評価した取り組み等 提言：改善や一層の努力を求めたい点等							
主な評価点	利用料・自主事業ともに大幅な増収を達成し、経費の節減にも努めて収益を黒字転換させている。 多様な器具・用具類が高水準に整理整頓されるなど、利用者の使いやすさを基軸にした取組みを評価する。						
提 言	デジタルを活用した情報受発信や業務効率の改善が課題であり、広報力強化による利用促進へつなげたい。 人身事故が多々発生しており、原因分析も踏まえ主催者側とともに防止への対応策を検討されたい。						

(評価区分)

評価区分	基 準	意 味
優	配点の85%以上	大いに評価できる
良	同 70～85%未満	評価できる
可	同 50～70%未満	普通
要改善	同 50%未満	改善を要する

5 期間評価結果について

○静岡県立水泳場

区分	H30	R元	R2	R3	期間評価点
評価点	88	88	87	91	89
評価	優	優	優	優	優

○静岡県富士水泳場

区分	H30	R元	R2	R3	期間評価点
評価点	86	88	93	94	90
評価	優	優	優	優	優

○静岡県武道館

区分	H30	R元	R2	R3	期間評価点
評価点	89	86	86	91	88
評価	優	優	優	優	優

別紙

<発言> ●委員 ○指定管理者

【県立水泳場】

●今後も KPI を明確にして、PDCA を行うことで、運営の改善に取り組んでいただきたい。また、設立から年数が経過しているが、施設内が適切に維持管理されていて、良い印象を受けた。

●アンケートを実施し、自由記述から様々な意見を確認できることは良いと思う。水泳場内の施設ごとの分析等は実施しているのか。また、一般利用を除く大会等の受入れについて、今後招致を増やした時に、十分に受け入れが可能なのか。もし、受け入れが可能であれば、競泳以外のアクアスポーツの大会招致等への広報も積極的に行う必要があると思われる。

○現状、施設ごとの分析等は実施出来ていません。今後、アンケートの実施方法について再度検討するとともに、併せて不満足の見解についての分析を行い、運営に反映させるよう努力していきます。大会等の受入れについては、大会等の実施数が増加しても十分に受入れることができるだけの空きはあるため、関係機関と連携し、大会招致の推進に向け取り組んでいきます。水球、アーティスティックスイミングの大会等については、現在も受入れを行っていますが、今後も県立水泳場の利用について、静岡県水泳連盟と連携しながら、利用の促進を図っていきます。

○大会・合宿等の最大受入数が年間どれくらいで、現状から考えるとあとどれだけ受入が可能なのか、数として具体的に把握するのは、経営をする上で重要なので、今後、経営計画の中に組み込むことを検討していきます。

●令和3年度に水泳場で溺水事故があったが、迅速に対応しており、当事者本人も回復しているので、施設として適切な対応がとれたと思うが、事故を受け、施設としてどのような取組を実施したのか。

○防止対策として、券売機、受付付近に自分の健康状態を再確認するポスターの掲示をすることで注意喚起を図っています。また、監視員の意識と救助技能の向上を目的に、事故後に水泳場での自主研修を実施しました。

●健康チェックの項目については、職員がチェックをしているのか。

○職員がチェックするのではなく、自己判断でお願いしています。

●やはり、自己判断では不十分だと思われるので、新型コロナの感染拡大や事故を防ぐために職員のチェック等が必要ではないか。

○体温は入口の検温計で確認できますが、その他項目等については、今後、施設として実施できる対応について検討していきます。

●一般利用者数が増加していないのが課題と言える。新型コロナウイルスの感染拡大による利用離れが進んでいるとも思われるため、一般利用者の増加を防ぐためにも、新規利用者が利用しなくなる、魅力ある新たな取組を競技団体等と連携しながら、積極的に実施していただきたい。

○先進事例等も参考にしながら、利用者数の増加に向けた新たな取組について検討していきます。

●光熱水費も高騰しているが、NTT ファシリティーズからの情報等、光熱水費の節減に向けた工夫について検討していただきたい。

○了解しました。

●中学校の部活動移行についてどう考えているのか。

○活動の拠点等の利用、人財バンクの提供等、部活動移行について協力できる部分は、積極的に協力していきたいと考えています。

●他の地域スポーツ団体とも協力しながら、積極的に関与していただければと思う。

【富士水泳場】

●収益の還元として、利用者が使用する脱水機等の備品更新を実施したことは良い取組だと思う。令和4年度になって、光熱水費の増額によって運営に苦慮しているかと思うが、光熱水費を低減するための取組を継続し、運営を継続していただければと思う。

●災害対策等について力を入れて、危機管理マニュアルを策定しているのは分かるが、マニュアルの記載内容に明らかな誤りがあった。誤りがあるのは仕方がないが、組織内で誰も気づかなかったことが問題である。なぜ、今回のようなことが起きたのか。

○専門業者と連携し、マニュアルを更新する際に、誤り部分については、打合せ時に削除することになっていましたが、削除すべきところが、掲載された状態となっていました。最終校正の際のチェック漏れのため、最終的に誤った状態での記載となっていました。今回の御指摘を受け、早急に修正するとともに、再度委員の方に送付させていただきます。

●人件費の減少は、職員の中で退職者が出たためとのことだが、退職した職員をカバーするためどうしたのか。

○本社から1年間運営サポートを受けながら運営を実施しました、令和4年度については、退職の職員の代わりの職員を採用し、運営しています。

●保守委託料の減少の理由は何か。

○設備の更新をした結果、保守点検が減少したのが理由です。

●携帯電話の電波等の状況はどうか。

○現在は概ね改善され、緊急時に、利用者の方も含め通常通り連絡がとれる状況となっています。

●富士水泳場については、新型コロナウイルス感染拡大の中でも利用者数等を大きく減少させず運営していることから、経営面では評価できる。今後も、近隣の宿泊施設等と連携し、利用者の拡大に向け、取組んでいただきたい。

○了解しました。

【武道館】

●令和2年度が新型コロナウイルス感染拡大前と比較し、利用者人数が半減したので運営状況を心配していたが、令和3年度は回復傾向ではあるので、新型コロナウイルス感染拡大前の水準に向け、努力を続けていただきたいと思う。

○了解しました。

●競技力向上の取組として実施している武道の講習会、研修会、指導者養成会等について、新型コロナウイルスの感染拡大により多くが中止になったのか。

○その通りです。競技力向上の取組として講習会、研修会、指導者養成講習会等の開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により多くが中止となりました。

●講習会等については、今後オンラインでの実施は可能なのか。

○可能です。今年度については指導者養成講習会について、オンラインで実施しましたが、今後は、講習会、研修会等にもオンラインでの導入を検討していきます。

●講習会等のオンライン化は、新型コロナウイルス感染拡大を契機に、通常の対応のひとつとなっている。そのため、通常時でも、オンラインでの受講が可能になることが望ましい。講師の映像を保存しておけば、受講者が何度も視聴することが可能となり、理解度も高まると思われるので、促進していただきたい。

●武道は、一般の方からなじみがない競技もあるので、主催者団体の了解を得て、大会の映像配

信等を積極的に実施することで、魅力を発信することも必要だと思う。

○大会等の映像配信については、主催者団体と調整し、積極的な実施をしていきます。

●経営管理の部分について、現在光熱水費の高騰が進んでいる中で、再委託先についても、委託業務等の実施で金額的に厳しい部分があると思う。光熱水費、物価高等の影響については、契約の際に考慮しているのか。

○指定管理料が一定のため、基本的に、再委託先については、5年間の契約でお願いしています。そのため、物価高等の特殊要因について、反映させていないのが現状です。消費増税の増額、仕様書の変更等の要因がない場合は、毎年同額でお願いしています。

●令和4年度については、光熱水費が急激な上昇となっているため、今後、大きな特殊要因が発生した場合は、再委託先の契約金額についても考慮していただきたいと思う。

○検討していきます。

●自主事業の教室について、募集人数が一定数に達しなかった場合、中止となるかと思うが、その中止の基準はあるのか。

○10人に達しているかを中止の基準指標としています。しかし、10人に達しないからすぐに中止するということではなく、改善方法を検討した上で、今後増加するかも含め総合的に勘案した上で中止するか継続するか判断しています。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、参加人数が減少している教室もあるため、収支の部分で厳しい部分もありますが、幅広い教室の開催を継続しています。

●武道館はスペースがあるので、施設内にディスプレイがあっても良い。バスケットボール選手、力士の等身大パネル等があっても面白いと思う。特に子どもは身長差や体格差が分かって喜ぶと思われる。

●また、武道館のアンケートを見ると50歳以上の方の利用率は高く、20歳～30歳代の利用率が低いと思われる。若年層の利用率を上昇させるために何か検討していることはあるのか。

○ディスプレイの利用については、武道館という施設上、一定の品位に配慮する必要があると思います。ディスプレイの掲示等に躊躇していた部分がありましたが、今後は利用者拡大に向け、施設とのバランスも考慮しながら取り組んでいきたいと思います。併せて、広報の発信方法、若年層向けの教室の開催等、民間企業、関係団体と連携しながら、若年層等にも広がっていくような取組について検討していきます。

●ディスプレイの設置の際には、親しみやすさの演出と、武道館としての品位のバランスをとることも必要だと思うため、指定管理者のみで検討するのではなく、広報のプロ等に依頼し、実施することが望ましい。

○了解しました。

●中小企業同友会が、周辺地域の高校1、2年生に対し、企業説明会をする際の会場として武道館を利用していたと聞いたが、武道、スポーツ以外の利用についてどう考えているのか。

○武道、その他スポーツに限らず、多目的な利用を推進していきたいと考えています。また、産業祭等、地域の方々に親しみを持ってもらえるきっかけになるようなイベントの実施についても継続して実施していきたいと思っています。

●個人も団体もメディア化しているので、SNSの活用方法、発信方法が多様になっている、様々な情報が存在している中で、指定管理者としても、情報の発信方法について再度検討していただきたい。

○了解しました。